

国際賞を受賞して



安成 哲三*

このたびは、思いもかけず国際賞という栄誉ある賞をいただき、大変光栄に存じております。受賞の理由が、「GAME (アジアモンスーンエネルギー・水循環研究観測計画) の国際的推進」ということですが、水文・水資源学会には、このGAMEに参加してさまざまなかたちでGAMEの成功に貢献して下さった多くの研究者の方々がおられます。したがって、私は、これらの多くの方々の代表、あるいは総代としてこの栄誉ある賞をいただいたものと考えております。改めて、GAMEに関わってくださったすべての研究者仲間に深く感謝する次第です。

GAMEにつきましては、その開始にあたり、水文・水資源学会誌に計画の概要が紹介されています(安成 哲三, 1994)。東アジア、東南アジア、南アジアは、モンスーンアジアとよばれ、湿潤なモンスーン気候が広がり、その豊かな自然環境と水資源を背景に、世界人口の60%におよび人たちが生活しています。一方で、このモンスーンアジアの水文気候は、さまざまな要因で変化・変動を繰り返してきました。豊かな水も時には干ばつで枯渇し、また、時には大洪水を引き起こして、人々の暮らしと生命をおびやかしてきたわけです。このようなモンスーンアジアの気候と水循環の変動には、アジアの地表面と大気との相互作用や大気・海洋相互作用などを通じたエネルギー・水循環過程の理解が非常に重要なわけですが、観測データの不足などにより、その理解は非常に遅れていました。これらのアジアモンスーンとその水循環に関わる基本的な理解を観測を通して進め、気候や水資源予測の基礎をつくらうというのが、GAMEを立ち上げた動機でした。

GAME (アジアモンスーンエネルギー・水循環研究観測計画) は第1期 (1996-2001) に1998年の強化観測年 (IOP) を含む観測的研究により上記に関連するデータを飛躍的に蓄積しました。GAME第2期 (2002-2004) では、アジアモンスーン域での詳細な熱・水収支データ、TRMM (熱帯降雨観測衛星) などの衛星データ、各国・地域での長期間の地上・高層気象データと水文・土地利用データなどを用いた解析により、モンスーンアジアでの植生・土地利用と気候・水循環の動的関係・相互作用の機構が明らかになってきました。これらの結果を気候・水文モデルの陸面・境界層・雲降水過程の改良に生かし、水文気候・水循環変動予測へ資することも、GAME第2期の重要な課題であり、今後の予測研究の礎となるいくつかの成果を収めることができました。

研究成果もさることながら、GAMEを通して得られた大きな財産のひとつは、異なる分野の研究者同士の交流と学際的な共同研究の枠組みが作られたことかと思えます。特に、GAMEの開始以前はほとんど交流のなかった理学中心の気象学・気候学関係の研究者と工学・農学などが中心の水文学関係の研究者が、フィールド観測などを通して、「仲良くなって」一緒に研究を始めたことは、大変大きな成果だったと私は自負しています。GAMEを、気象学や水文学の若手研究者が強く進めようと張り切っている時に、「水文学はGCM (気候モデル) 屋の奴隷になるのか?」と言われて、水をさしたシニアの水文学者もおられたと聞いておりますが、今や、水文研究者もどんどんGCMを使い、気候モデ

*名古屋大学地球水循環研究センター

ル研究者も、「水資源予測」をめざしてGCMを動かすようになっていきます。気象学・気候学を主たる研究テーマとしてきた私が、今、本学会の会長を仰せつかっているのも、このようなGAME効果(?)なのかもしれません。GAMEを通して得られたもうひとつの財産は、アジア各国の研究者や研究・現業機関との連携の枠組み作りへ大きく貢献できたことです。この経緯については、GAMEを終えるにあたって本誌に私が書いた巻頭言(安成, 2004)でも述べました。幸い、GAMEを育て、あるいはGAMEで育った多くの若い水文学、気象学、気候学分野の研究者は、GAMEで培われた国際的・国内的な協働と共同研究の精神をさらに発展させつつ、WCRP(World Climate Research Programme:世界気候研究計画)傘下の新しい国際共同研究計画MAHASRI(Monsoon Asia Hydrospheric Atmospheric Research & prediction Initiative:モンスーンアジア水文気候研究計画)などの計画を、引き続き進めておられます。

昨年の本誌の巻頭言(安成, 2007)でも述べましたが、この受賞を契機に、私自身も、若手からシニアにいたる多くの研究者とともに、アジアにおける、あるいはアジア発信の新しい水文・水資源学構築に少しでも貢献すべく、改めて努力する所存です。

参考文献

-
- 安成 哲三, 1994: アジアモンスーン エネルギー・水循環研究観測計画(GEWEX Asian Monsoon Experiment; GAME). 水文・水資源学会誌, 7, 343-345.
安成 哲三, 2004: モンスーン・水循環予測へ向けたアジアでの新しい時代の幕開け. 水文・水資源学会誌(巻頭言), 17, 1-2.
安成 哲三, 2007: 21世紀における水文・水資源学会の役割. 水文・水資源学会誌(巻頭言), 20, 1-2.